

七高SSH通信

～七尾高校理数科だより～

H25・8・20
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成25年度 第3号

シンガポール海外研修



7月23日(火)～28日(日)の日程で、シンガポール海外研修が行われました。理数科2年生14人が交流先のNUSハイスクールを訪れ研究交流を行いました。本校では平成19年度から、国際的な場面での研究交流ができる英語活用能力の育成を目的として、シンガポールで実践研修を行っており、NUSハイスクールとの交流は今年で7年目となります。NUSハイスクールでの授業参加や学生寮での交流行事、英語での課題研究発表、サイエンスセンターやアジア文明博物館でのワークショップと盛りだくさんな内容でしたが、生徒達はあらゆる機会を利用して多くのことを吸収しようと積極的に活動していました。また、NUSハイスクールの生徒ともおおいに交流することができ、研究活動だけでなく、スポーツやクラブ活動、食事や買い物など、いろいろな場面でお互いを知ろうと英語や日本語でコミュニケーションを取り合う姿が見られ、非常に充実した6日間でした。

11月にはNUSハイスクールの生徒が本校を訪れ交流活動を行う予定です。その交流がまた実り多いものになるよう、さらに切磋琢磨して行って欲しいと思います。



NUSハイスクール: シンガポール国立大学付属数理高校。シンガポール国内の全小学生が受験する統一試験の結果、数学と理科の優秀な生徒のみ受験することができる国立の高校。6年間の一貫教育で数学と理科を集中的に学ぶ。近年世界のトップ30、アジアのトップ3に入るNUS(シンガポール国立大学)との提携校でもある。数学等の国際的な競技会を開催するなど世界各国の高校と幅広く交流を行っている。



パディ(案内役)に学校内を案内してもらいました。右は校内にあるエコガーデン。



NUS学生寮にて。留学生が多いので食事は色々な種類のもので用意されます。

NUSハイスクールにて



授業体験。理科や数学の授業に参加しました。



課題研究発表。ポスターセッション方式で実施したので質疑応答がスムーズでした。



部活動体験。サッカーの親善試合はなかなかいい勝負でした。



その他

市内でお買い物。本屋では日本のマンガがたくさんありました!



スंगाイブロー湿地保護区



リバーサファリ

感想

来年行く後輩たちへ一言!

- ポスターセッションはすごく良い経験だった。自分の研究が他国の人に受け入れてもらえるのはかなりの快感だった。英語の成績がいいのとうまく交流できることは違うと思う。積極的なら大丈夫!また、私は辛いものが苦手なのだが、毎日のように食べるのでだいぶ慣れた。苦手でもトライしてほしい。
- 日本では書いて覚える力を授業で行うが、それはとても不十分だと思った。何度も英語を聞いたり話したりすることが日頃から特に大切なことだと思う。また、英語の力も大切だが、どうしても難しいときは単語を並べたり、ジェスチャーを入れて積極的に伝えようとすれば相手もそれに応じてくれるので積極的に行動することが大切だと思った。

マリンサイエンス

(理数科 1 年生)



7月9日(火)～11日(木)にかけて、能登町小木にある金沢大学臨海実験施設で1年生理数科生徒40名を対象にマリンサイエンスを実施しました。この実習は、毎年金沢大学のご協力をいただき、能登半島の海産生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を深め、自然を見る目や科学的な視野を養うことを目的としている事業で、能登地方の海水調査やプランクトン調査、海棲生物に関する学習を中心とした内容となっています。

金沢大学の鈴木先生と関口先生から、海棲生物の分類や進化について講義をして頂いた後、実際に海へ出て採集実習を行いました。その後採集物の分類と、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。

1年生にとっては初めての泊まりがけの野外実習でしたが、生徒達は色々なことに積極的に活動し最後には互いに協力してとても興味深い発表を行っていました。

金沢大学鈴木教授の講義。めずらしい標本も見せて頂きました。



採集の様子。船に乗り、海水の採集と水質調査も行いました。

観察と分類の様子。細部が微妙に違っていたりと同定はなかなか難しかったです。



隙を見て逃げるクモヒトデ



最優秀おめでとう

最優秀は石倉班のカニダマシについての発表が選ばれました。

発表は『ヒトデの起き上がる速度』など8つのグループで発表しました。どの班も短時間でよくまとめられており力作ぞろいでした。

感想

○海産生物の採集や乗船実習、夜のプランクトンの採集などもとても楽しかったです。特にウニの発生の様子は資料集の写真と同じ形をしていて感動しました。人前での発表もとてもよい経験になったと思います。

○海洋の無脊椎動物の知識がぐっとふえました。それらだけでなく実験の方法や解剖などこれからの勉強の基礎になることも自分の力にできて良かったです。おもしろい実験も多く、本当に飽きなくて楽しかったです。

○ヒトデのひっくりかえる研究をして、自分なりに考察することができた。班の人で協力しポスターを頑張って作成し発表した結果、優秀賞をもらったのがうれしかった。他の班の研究では、自分が思いつかない内容や考察があり、みんな自分らしさが出ていておもしろかった。



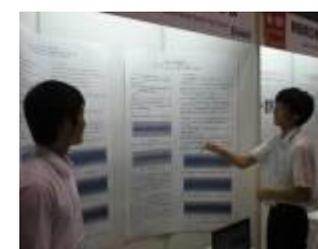
SSH生徒研究発表会

in 横浜市

8月6日(火)～7日(水)に、SSH生徒研究発表会がパシフィコ横浜で行われました。全国のSSH校と海外招聘校、大学やその他研究機関など約300団体が集まり研究発表を行いました。七尾高校からは、『和音と不協和音』のグループが参加してきました。1日目に各自の学校で自分達の研究をアピールする時間が設けられ、本校生徒は英語で自分たちの研究についての寸劇を行いました。2日目にはポスターセッション方式で行われ、パソコンや楽器を用いて実演を交えながら英語と日本語で発表しました。この大会は研究の成果を披露するだけでなく、他県のSSH校の生徒達や海外の高校生と交流できるよい機会でもあり、生徒達は他校の研究やそのアプローチの仕方などを見ることでまた新たに得るものもあったようです。



3人のピアノによる合奏と英語による発表。会場から笑いが…。



七尾高校ブース。ポスターセッションでの発表の様子。